

日本アニメーション学会 歴史研究部会 2015年度第2回研究会のお知らせ

会員各位

下記の日程と内容にて、第二回研究会を開催いたしますので、よろしくご参集ください。

○開催日：11月21日（土）14時00分～17時15分

○会場：専修大学 神田校舎7号館（大学院棟）783教室

[http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access/kanda\\_campus.html](http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access/kanda_campus.html)

（趣旨）

アニメーションを専門的な研究分野として志す大学院生は近年増加しつつあるが、その研究成果発表の場は様々に点在しており、情報の共有がなされにくい、業績と存在自体が認知されにくい。当学会では年次大会が若手研究者の発表の場となっているが、大会は20分前後の報告時間が基本になっており、歴史研究においては本来なされるべき、先行研究の把握とその位置づけや、史料批判などを徹底して行うのは難しい。また、質疑の時間も限られているため、議論自体を掘り下げる機会を別途設ける必要がある。

歴史研究部会では、こうした問題に個別に取り組むのではなく、学会の研究部会として、若手研究者の顕在化と認知、情報交換と共有を行うため、大会よりも長い発表と質疑の時間を確保し、また発表内容に関する学術的位置づけなどをフォローするコメンテーターを用意することで、より研究を掘り下げる機会を提供したい。

この試みの第一回として、当研究部会では、中国アニメーション史における「万兄弟」の位置づけを、新聞・雑誌史料から実証的に検証している陳龔氏、しばしば海外映画祭に自作を出品していた大藤信郎の活動とその海外評価を現地の史料によって検証している臼井直也氏を招く。また、コメンテーターを、国内外のアニメーション史研究に造詣の深い権藤俊司先生に依頼し、議論の口火を切っていただく。

○発表者

・陳龔（東京大学大学院総合文化研究科）

（発表題目）万兄弟についての伝説と真実（仮）

（発表要旨）

従来中国アニメーション史は、「中国アニメーションの起源は、すべて万兄弟による暗中模索の中から生み出された」という公式見解に統一され、創始者として「万兄弟」の名を知らぬ者はなく、彼らが1940年代までの唯一の初期アニメーション作家であると考えられてきた。彼らが作ったアジア最初の長篇アニメーション『鉄扇公主』が日本でも評価されたため、日中の間で流されている「万兄弟」についての逸話もいくつ存在

している。しかし、いつも「一つの人格」として認識されてきた「万兄弟」は、実は「四人組」と「三人組」と「二人組」の時期があり、兄弟がそれぞれアニメーション事業に対する貢献も異なっている。中国アニメーション史を全面的に把握するためには、万兄弟の一人一人を詳しく理解する必要がある。本発表は、万兄弟に焦点を当て、万兄弟及び親族の回想録に加えて『申報』と『良友』など新聞と雑誌を徹底的に調べ、先行研究で紹介されている彼らの功績の真偽を検討し、万兄弟の「伝説」を「真実」に還元してみる。

・臼井直也（東京外国語大学大学院総合国際学研究科）

（発表題目）大藤信郎作品の海外発信と現地での評価に関する研究の現状と課題

（発表要旨）

日本のアニメーションの海外発信史（或は海外における日本のアニメーションの受容史）においてその先駆けと言われる人物は大藤信郎（1900-1961）である。しかしながら、アニメーション史研究において、大藤作品の海外への発信や海外における評価はこれまで十分に扱われてきていない。本発表では、大藤作品の海外発信として、『珍説吉田御殿』（1928）の1929年のフランスへの発信を出発点とし、1952年のウルグアイでの映画祭から1960年の第6回西ドイツ短編映画祭での上映にいたる戦後の各海外映画祭への出品までを扱い、現地の一次資料を提示しながら大藤作品がどのように受容され評価されたのかを報告する。さらに、大藤研究に関しては未だ海外の現地調査による事実確認が十分に行われておらず国内資料からの推測にとどまる点も多いことから、今後調査が望まれる研究課題をあげ、参加者との共有を行いたい。

○コメンテーター

・権藤俊司（東京工芸大学アニメーション学科）

○司会

・木村智哉（日本学術振興会特別研究員）

※どなたでもご自由に参加いただけますが、配布資料等の準備の関係上、参加希望の方は氏名、所属ないし肩書、メールアドレス、会員・非会員の別をご記入の上、木村智哉（kimura\_t1980@yahoo.co.jp @を小文字に変換）までご連絡ください。当日になってのお申込みや、飛び入りでの参加の場合は、配布資料をご用意できない可能性もございますので、ご協力をお願いいたします。それでは皆さまのご参加をお待ちしております。